

# ブートローダー(v3)の説明

注意：このページは古い情報が書かれています。ご本家NetBSD/sandpointには\*絶対に\*適用しないようにしてください。

## v2からの変更点

- 28MB程度までのカーネルをロード出来るようになりました。(v2は4MBまで)
- "cmdline="を指定できるようにしました。カーネルに文字列で起動引数を渡せます。(v3.1より)

**使用法:** `insmod nbloader_v3.o [kernel=カーネルファイル] [startaddr=ロード&スタートアドレス] [cmdline=カーネル引数文字列]`

### kernel

起動するNetBSDカーネルのパスです。デフォルトは"netbsd.bin"です。

### startaddr

カーネルをロード&実行するアドレスです。デフォルトは0x90000です。この値はカーネル側の指定と一致させる必要が有ります。(カーネル側の指定はsys/arch/sandpoint/conf/std.kuroboxに有ります。)

### cmdline

カーネルに渡す引数(文字列)を指定します。解釈はカーネル側で行います。私のパッチを当てたカーネルですと、"bootdev="と"boothowto="が使えます。"bootdev="には、"wd0a"や"sd0a"などのデバイス+パーティションが指定できます。"boothowto="には、"-s"などのブートモード指定子が指定できます。デフォルトは空です。

## 使用例

```
insmod nbloader_v3.o kernel=/boot/netbsd.bin cmdline=bootdev=wd0a  
/boot/netbsd.binを起動し、rootをwd0aとします。
```

```
insmod nbloader_v3.o kernel=/boot/netbsd_test.bin cmdline=bootdev=sd0a,boothowto=-s  
/boot/netbsd_test.binを起動します。rootはsd0aとし、シングルユーザモードで起動するようにします。
```

## 注意点

nbloader\_v2と同様の指定(bootdev,boothowto)は可能です。以前のカーネル(~2006-04-17版)には、cmdlineの指定は無効です。以前のカーネル(~2006-09-29版)には、cmdlineの指定のカンマ区切りによる複数指定は無効です。

指定全体が無視されます。(bootdev=wd0aなどと、一つだけ指定して下さい。)  
bootdev,boothowtoとcmdlineが同時に指定された場合、cmdlineでの指定が優先されます。  
startaddrでのカーネルスタートアドレスの変更は不安定です。当面デフォルト値のまま使用されたほうが良いでしょう。

---

ご連絡先: E.Kawauchi atto gmail dotto com

---

9615